

拡大する
放射能汚染と
法律問題

法律家の視点から

日置雅晴 [著]
Masaharu Hioki



006

自分と家族を守るために
知っておくべきこと
日々明らかになりつつある
放射能汚染の実態
もはや他人ごとと言えない
この状況の中
いかに国民の権利を守り
日弁連原子力
プロジェクトチームの一員を
務める弁護士が
明らかにする

早稲田大学
ブックレット

「震災後」
に考える

早稲田大学ブックレット

「震災後」に考える

11月末
刊行開始!

専門分野を超え、知を糾合する!

本年3月に起きた東日本大震災は、巨大な地震・津波と原子力発電所の事故との複合により、まさしく想定外の甚大な被害をもたらし、その衝撃は世界を震撼させました。それは、わたしたちの思考や行動、そして制度の前提を問い直させるものであり、個人・組織・社会の全般にわたるあらたな研究と知識の創造を求める出来事でもありました。早稲田大学における復興支援のための様々な研究・支援プロジェクトを通じて得た知見・思索・活動を親しみやすいブックレットとしてお届けします。

A5判・平均88頁・定価987円(税込)

【主な想定読者(ご参考)】

● 専門家・研究者 ● 地方自治体・学校・企業などの実務担当者 ● 市民 ● 大学生・高校生
※上記に限らず幅広い読者の方にお読みいただけます。

- **災害時にこそ問われる学級経営力—岩手・三陸編** 河村茂雄 編著 【11月刊】
震災直後から1学期末までの岩手県内陸部・沿岸部の教師たちの取組を通じ、平素からの学級経営の大切さと、その実践力を身に付ける方法を明らかにする。全国教職員必読の書。(978-4-657-11301-6)
- **災害に強い電力ネットワーク—スマートグリッドの基礎知識** 横山隆一 編著 【11月刊】
大地震と原発事故によって世界に誇る日本の電力システムに何が起きたのか。再生可能エネルギーや地産地消型電力網への期待を現実にするために不可欠の先端技術をやさしく紹介する。(978-4-657-11302-3)
- **東日本大震災とコンビニ—便利さ(コンビニエンス)を問い直す** 川邊信雄 著 【11月刊】
折り重なる瓦礫のなかで身を挺してライフラインを守り、モノとサービスを提供しつづけようとした人々への共感をこめて、日本型コンビニ研究の権威がつづる6ヵ月の観察記録。(978-4-657-11303-0)
- **東北津波とは何だったのか—被害調査と減災戦略** 柴山知也 著 【12月刊】
誰も予想できなかった巨大被害。沿岸防災研究の世界的権威がその実態を明らかにするとともに、構造物のみに頼らない地域単位の減災対策で「想定外」に備える。(978-4-657-11304-7)
- **地方自治体は重い負担に耐えられるか—持続可能な行・財政へ** 小林麻理 編著 【12月刊】
大地震の被害に立ち向かう自治体の財政は厳しく、行政力には限りがある。企業・NPO・市民参加など、民間の様々な力を集める調整役としての自治体の新しい役割を描く。(978-4-657-11305-4)
- **拡大する放射能汚染と法律問題—法律家の視点から** 日置雅晴 著 【12月刊】
拡大する放射能汚染の実情と、わが国の放射能規制の現状。自身と大切な家族を守るために知っておくべき事実を、日弁連原子力賠償PTメンバーの弁護士が明らかにする。(978-4-657-11306-1)
- **復興政策をめぐる《正》と《善》—震災復興の政治経済学を求めて①** 【続刊】
鈴木興太郎・須賀晃一・河野勝・金慧 著
危機対応の政策・制度を構想し遂行していくための必須の視点は何かを問う。既成の評価基準を再検討し、正しい選択の仕組みと考え方を示す。(978-4-657-11307-8)
- **憲法と大震災** 水島朝穂 著 【続刊】
800キロにわたる現地取材でみた多くのアクターたちの献身。そこに、日本国憲法が本来目指していたはずの理想実現の兆しをみた。行動派憲法学者による未来への提言。(978-4-657-11308-5)
- **0泊3日の支援からの出発—WAVOC ボランティア派遣活動の記録** 加藤基樹 編著 【続刊】
「何かをしなければ」という強い思いに突き動かされ、ボランティア活動に参加した大学生たち。彼ら・彼女らの現地での体験、その後の心の変化を高校生など未来を担う世代に伝える。(978-4-657-11309-2)

※書名は仮題です。以降、豊富なテーマで順次刊行を予定しております。

書名横の□欄に冊数をご記入のうえ ※書店様へ。お客様からご注文がありましたら、本票を小社までFAXにてお送りください。
お近くの書店でご注文ください。

お名前

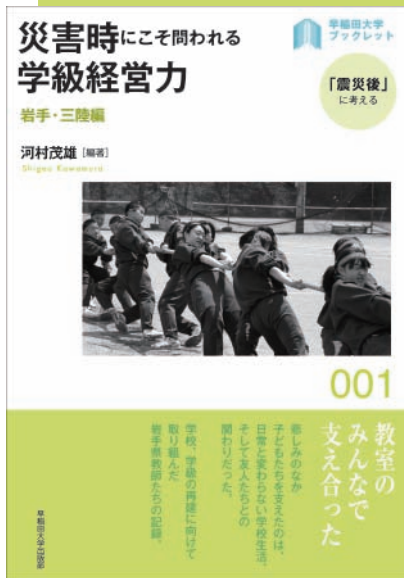
お電話番号

帳合印

ご担当者名

株式会社早稲田大学出版部
http://www.waseda-up.co.jp/
TEL 03-3203-1551

FAX (書店様用)
03-3207-0406



災害時にこそ問われる学級経営力—岩手・三陸編

早稲田大学教育・総合科学学術院教授 河村茂雄 編著

震災直後から1学期末までの岩手県内陸部・沿岸部の教師たちの取組を通じ、平素からの学級経営の大切さと、その実践力を身に付ける方法を明らかにする。全国教職員必読の書。(A5判・96頁・定価987円・978-4-657-11301-6)

《目次から》

第1章 3.11 当日とその後の教育現場 (河村茂雄)

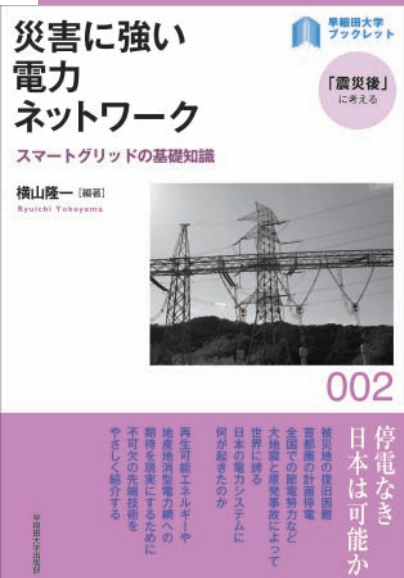
1 その時何が起こったのか 震災当時の学校の様子 / 2 教師たちによる復旧の取組 物理的環境の確保に向けて

第2章 学校再開から1学期末まで 教育関係者はどう取り組んだのか

1 生徒指導主事の立場から 1つの校舎で2つの中学校の生徒が生活・活動した中学校の実践 (佐藤謙二) / 2 管理職の立場から 被災地域支援の前線基地にある中学校の実践 (根田真江) / 3 養護教諭の立場から 専門家と学校現場をつないで効果を上げた養護教諭の実践 (工藤宣子) / 4 教育関係者の立場から 多くの支援を学校につなげ、学校を後方から支えた取組 (森本晋也)

第3章 危機にこそ大事にしたい学級集団の力 (河村茂雄)

1 心理面での総合的援助の必要性 / 2 グループアプローチの土壌としての学級集団 / 3 第2章の先生方の実践から学ぶこと / 4 改めて認識した人と人との絆の大切さ



災害に強い電力ネットワーク—スマートグリッドの基礎知識

早稲田大学理工学術院教授 横山隆一 編著

大地震と原発事故によって世界に誇る日本の電力システムに何が起きたのか。再生可能エネルギーや地産地消型電力網への期待を現実にするために不可欠の先端技術をやさしく紹介する。(A5判・96頁・定価987円・978-4-657-11302-3)

《目次から》

第1章 今なぜ電力ネットワークが重要なのか (横山隆一)

1 日本の電力供給システム / 2 日本の電力供給システムに求められていること / 3 新しいステージへ キーワードは「回復力」

第2章 スマートグリッドの基礎知識 次世代社会システムのインフラとして (横山隆一)

1 スマートグリッドとは何か / 2 スマートグリッドは我々に何をもちたか / 3 スマートグリッド導入の前提 関連技術と標準化 / 4 我が国のスマートグリッド開発と今後の展望 / 5 海外のスマートグリッド開発

第3章 東日本大震災と電力ネットワーク スマートグリッド導入の大切さ (伊庭健二)

1 自然災害と電力ネットワーク / 2 スマートグリッドの評価と課題 / 3 災害に強いスマートグリッド / まとめ

第4章 地産地消型電力ネットワーク クラスタ拡張型グリッドとは (小柳 薫)

1 クラスタ拡張型グリッド / 2 クラスタ拡張型グリッドの技術的特性 / 3 クラスタ拡張型グリッドの動作シミュレーション例

第5章 今後の展望 さまざまな期待 (横山隆一)

1 欧米諸国と日本の違い / 2 スマートグリッド構築の経済効果 / 3 国際標準化の動きと外国の事情



東日本大震災とコンビニ—便利さ (コンビニエンス) を問い直す

早稲田大学名誉教授 川邊信雄 著

折り重なる瓦礫のなかで身を挺してライフラインを守り、モノとサービスを提供しつづけようとした人々への共感をこめて、日本型コンビニ研究の権威がつづる6ヶ月の観察記録。(A5判・90頁・定価987円・978-4-657-11303-0)

《目次から》

第1章 大災害時に「コンビニエンス」とは何か

1 ライフラインを直撃した大震災 / 2 ライフラインを狙ったコンビニチェーン

第2章 コンビニが受けた大震災の被害と再起

1 大災害の発生 / 2 コンビニの被害状況 / 3 コンビニ ATM の課題 / 4 営業成績への影響 / 5 自治体との協力関係の構築

第3章 大災害へのコンビニの対応

1 震災直後の対応 / 2 迅速な店舗の復旧 / 3 配送システムの復旧 / 4 コンビニ以外の小売り・サービス企業の対応

第4章 コンビニの本質と震災後への戦略

1 供給はコンビニの命 / 2 蓄積された経験 / 3 震災後の新たな動き / 4 業績見通しと積極的な出店戦略

第5章 ライフラインというコンビニエンスの追求

【主な想定読者 (ご参考)】 ● 専門家・研究者 ● 地方自治体・学校・企業などの実務担当者 ● 市民 ● 大学生・高校生

※上記に限らず幅広い読者の方にお読みいただけます。

裏面の注文票をお近くの書店にお持ちください。

株式会社早稲田大学出版部 <http://www.waseda-up.co.jp/>